

景況調査

第27回「山形県企業景気動向調査」(概要)

詳細は調査レポート(<http://www.f-ric.co.jp/>)をご覧ください。

1 調査の目的

山形県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、県内景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

アンケート対象企業(756社)有効回答数532社(回答率70.4%)すべての質問事項についてDI(Diffusion Index)値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」=([良い]と回答した企業の割合) - ([悪い]と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成23年5月9日~20日

4 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前年同期比)を5段階に分けて図解したもの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 30	30 > DI



◆今期の業況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

◆来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

山形県企業の景気動向

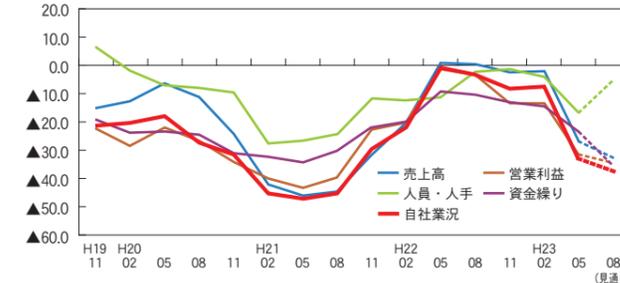
現状判断

自社の業況判断を示す「自社の業況DI値」(前年同期比)でみて、▲33.3(25.8ポイント下落)となり、震災の影響により、平成16年11月調査以来最大の下げ幅となった。「各種DI値」(前年同期比)でも「売上高」をはじめ、すべてのDI値において下落した。

先行き見通し

「自社の業況DI値」(前年同期比)が▲37.4(4.1ポイント下落)となり、さらに若干の悪化が懸念される。

自社業況DI値(前年同期比)の推移



調査項目	自社業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
調査時点	(前期比)				
H22.11 (n=475)	▲8.0	▲6.5	▲2.7	▲13.5	▲1.2
H23.02 (n=491)	▲7.5	▲6.7	▲2.2	▲13.2	▲4.1
H23.05 (n=532)	▲33.3	▲32.9	▲27.2	▲31.9	▲16.9
変化幅	▲25.8	▲26.2	▲25.0	▲18.7	▲12.8
H23.08 (n=532)	▲37.4	-	▲32.6	▲34.6	▲5.1
末期予測: 変化幅	▲4.1	-	▲5.4	▲2.7	11.8
					▲12.0

業種別の動向

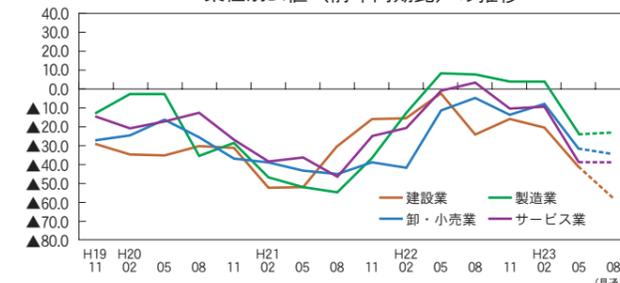
現状判断

「自社の業況DI値」(前年同期比)は建設業での▲41.2(20.9ポイント下落)をはじめ、全業種で大幅に悪化している。とくに4期連続でプラスだった製造業がマイナスに転じたほか、サービス業の悪化幅が大きい。

先行き見通し

「自社の業況DI値」(前年同期比)が建設業で▲58.0(16.8ポイント下落)と大幅に悪化し、その他の業種はほぼ横ばいとなっている。しかしながら、サービス業のうち、旅館・ホテルなどの観光関連産業や飲食業は原発問題による風評被害などにより、引き続き冷え込む見込みである。

業種別DI値(前年同期比)の推移



調査項目	業種別・自社業況			
	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
調査時点				
H22.11 (n=475)	▲15.8	4.2	▲13.5	▲10.3
H23.02 (n=491)	▲20.3	4.1	▲8.1	▲9.4
H23.05 (n=532)	▲41.2	▲24.4	▲31.9	▲38.9
変化幅	▲20.9	▲28.5	▲23.8	▲29.5
H23.08 (n=532)	▲58.0	▲23.2	▲34.8	▲39.0
末期予測: 変化幅	▲16.8	1.2	▲2.9	▲0.1

地域別の動向

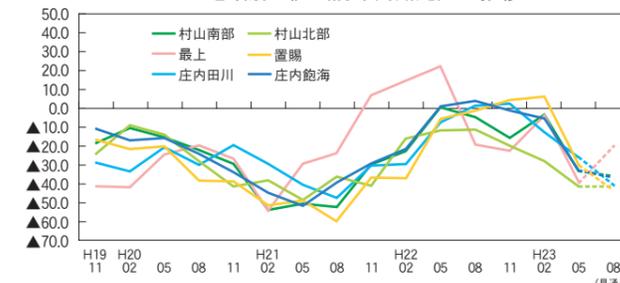
現状判断

「自社の業況DI値」(前年同期比)は村山北部での▲41.5(13.3ポイント下落)をはじめ、全地域で大幅な下落となった。これまで比較的良好だった製造業が集積している置賜は前々期、前期とプラスだったが、今期は3期ぶりにマイナスに転じた。

先行き見通し

「自社の業況DI値」(前年同期比)が置賜で▲43.0(12.6ポイント下落)、庄内田川で▲40.7(14.7ポイント下落)と大きく落ち込む見込み。

地域別DI値(前年同期比)の推移



調査地域	地域別DI値					
	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
調査時点						
H22.11 (n=475)	▲15.8	▲20.0	▲22.4	4.6	2.3	▲1.1
H23.02 (n=491)	▲3.3	▲28.2	▲3.8	6.1	12.6	▲5.3
H23.05 (n=532)	▲33.8	▲41.5	▲39.6	▲30.4	▲26.0	▲33.0
変化幅	▲30.5	▲13.3	▲35.8	▲36.5	▲13.4	▲27.7
H23.08 (n=532)	▲36.1	▲41.5	▲22.6	▲43.0	▲40.7	▲36.7
末期予測: 変化幅	▲2.3	0.0	17.0	▲12.6	▲14.7	▲3.7